

東京都立練馬高校 同窓会会報

いちご
銀杏の朋
とも

銀杏の朋 第12号

2006年9月30日発行

発行：東京都立練馬高等学校同窓会事務局

〒179-0074練馬区春日町4-28-25

TEL- 03-3990-8643

編集：銀杏会会報委員会



’06年度総会 (& 懇親会) のご案内

’06年度総会を下記の通り行います。クラス会、同期会にもお役立て下さい。

日時：2006年11月18日 (土)

総会 3 pm ~ 4 pm

懇親会 4 pm ~ 6 pm

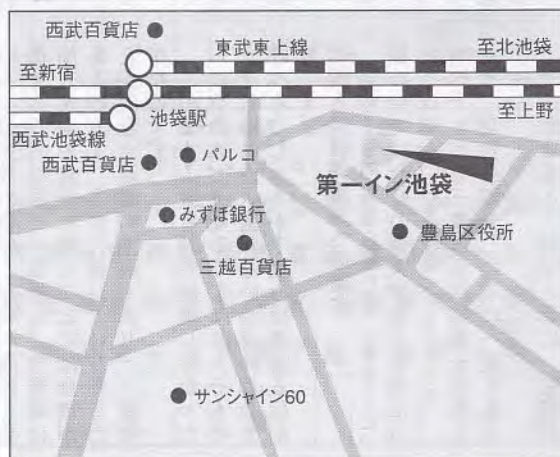
※総会が終わり次第、懇親会をはじめます。

場所：池袋『第一イン』ホテル

会費：3,000円

議題：活動報告および活動方針

決算および予算の承認



練馬高校に着任して

都立練馬高等学校校長 宗像 敏夫

同窓生の皆様には初めてご挨拶致します。昨年四月校長として練馬高校にまいりました。練馬高校には昔、大学の学科(数学)および部活動(ソフトテニス)での先輩にお会いするのために訪れたことがありました。練馬駅からバスで遠かったという思い出があります。今は大江戸線が通り、便利になっていることに感動しました。学校も生徒や先生方の努力で落ち着いており、楽しく過ごさせていただいております。

練馬高校は今年から重点支援校に指定され、進路実績の向上と、中途退学者の減少を目指して、教育活動に取り組んでいます。生徒が学校で楽しく充実した生活を送り、希望する進路が実現するように、これまで以上にきめ細かく取り組んでいきます。

部活動では、女子バスケットがベスト16に、男子バスケットがベスト32、野球も西東京大会で2勝しました。他のクラブもこれまで以上にいい成績を残しています。今後さらに練馬高校の名を広めてくれるものと期待しています。

同窓生の皆様にはいろいろな面でご理解ご協力を頂くこともあるかと存じます。その節はどうぞよろしくお願い致します。



同窓会活動の危機

銀杏会会長 伊藤 久雄



大きな題で恐縮ですが、同窓会活動も大きな岐路にあると思われますので、あえてこの題にしました。最後まで目を通していただければ幸いです。

【銀杏会の現状と課題】

①会長以下、理事への負担が大きい

すでに私は十七年間会長をやっています。すべてボランティアです。ほかの理事の方も十年以上やられています。会則上は各卒業学年のクラス幹事の中から毎年、理事を選ぶことになっていますが、実際にはクラス幹事会を開くのが困難なため、交代してもらうことが出来ません。身代わりを見つけていなければ抜けられない状況です(笑)。有形無形に様々な援助をしてくださる会員の皆さんには本当に感謝しています。私が会長以下、理事全員のがんばりも限界に近づいています。活動停止や同窓会解散もあり得るかもしれません。

②総会への出席者が少ない

私が会長になった時、池袋のサンシヤインプリンスで総会をひらきました。この時は一〇〇名以上の方が参加され盛会でした。しかしそれ以降、総会参加者は二〇名前後で低迷しています。母校を会場にする、日時を春から秋に変更する、参加費を安くする、講演会を行うなど様々な方策を講じましたが、参加者は一向に回復しません。理事に

勧誘されるかもしれない、仲の良かった同級生やお世話になった先生がいっぱいいるかどうかわからないなど様々な理由があると思います。委任状を頂いているので議決には問題ないとはいえ、あまりに参加者が少ないと総会を開く意味があるのか考え込んでしまっています。

③活動資金の不足

同窓会活動での最大の支出は会報です。約百万円かかります。収入の柱は入会金と寄付で約九十万円。実際には支出はもっと多く収入は減少する時もあったので、会報発行以来、資金は三百万円少なくなりました。

資金が払底すれば活動停止に追い込まれるのは明らかです。そのような事態をどのように回避するかは会報発行以来の本会のテーマでした。

資金不足を補う現実的な方法は入会金の値上げか正会員からの会費徴収しかありません。本会の入会金三千六百円は他校に比べればかなり安いのですが、新入会員ではなく正会員から頂くこととし、平成十五年度の総会において一〇年会費二千元を徴収することを決定しました。

しかし、その後様々な点からメリット・デメリットを再検討し徴収実施を延期することになりました。

会報・総会を隔年にすれば何とか活動を継続できると判断したのですが、会報送付・総会実施は毎年が望ましく、その意味でいえば同窓会会計は大きな問題を孕んでいます。

④入会者の減少

初耳の方が多くかとは思いますが、東京都教育委員会の指導により数年前から同窓会入会は任意になりました。従来の全員加入ではなく、加入同意書

を提出した希望者だけが会員になるわけです。これは大変大きな、同窓会にとつては大打撃になりかねない変更でした。

案の定、その影響は大きく出ています。制度導入直後から新規加入率はじりじり低下し、今年の三月には六〇%台になりました。

加入者の減少は同窓生の一体感を破壊し、収入の減少、同窓会事務量の増加に直結します。

母校への思いは加齢とともに増加するものです。卒業時に母校に対して何の感慨もなかったが、歳をとるにつれて愛着がもてるようになったという話を卒業生からよく聞きます。

私は卒業時に同窓会入会の意思確認をするというのは、いつけん合理的に見えながら、実は同窓会破壊にほかならないと考えています。卒業時に母校に対して深い思いをもっていたり、二〇〇三年後の自分と母校の関係を想像できる人は殆どいません。卒業時に加入希望の有無を聞くことには無理があるのです。まず入会していただくことが同窓会活動の基礎であり、一番大切なことです。

このまま入会者数が回復しなかったら同窓会はどうなるでしょう?そもそも半数強しか入会しない会を同窓会と呼べるのでしょうか?悩みは深まるばかりです。

⑤個人情報保護法への対応

会報で毎回お知らせしているように、銀杏会では会員の個人情報管理については細心の注意を払ってきました。当然ですが第三者に会員情報を提供したり、会員を紹介した事は一度もありません。

問題があるとすれば5年に一度発行

される総合名簿です。名簿は同窓生の便宜と同窓会活動資金のために作られてきました。しかし、悪用されなかったとは断言できません。購入した会員が第三者に渡したり、第三者が会員になりすまして購入するのを防ぐことはできないからです。実際、名簿を使って宗教勧誘や商品セールスされたと思われる例がいくつかありました。そのようなことを防止するため、理事会としては今後は名簿を発行しない事を決めました。

クラス会や同期会を開くときには同級生の情報が必要です。その情報は銀杏会が間接的に提供します。個人情報保護法により本人の同意なく情報提供はできないので、問い合わせに対しては、問い合わせがあった旨を本人に伝え、その本人から連絡をしていただくようにします。

二〇〇六年度役員一覧

名誉会長	宗像 敏夫 (母校校長)
会長	伊藤 久雄 (77年卒)
副会長	小澤 直彦 (75年卒)
書記	宮坂 由子 (72年卒)
理事	川島英無礼 (93年卒)
理事	小菅 英明 (73年卒)
理事	三浦 喜雄 (75年卒)
理事	矢野 正弘 (77年卒)
理事	宮鍋 和美 (94年卒)
理事	米山あゆみ (95年卒)
会計監査	近藤 邦男 (73年卒)

同窓会クラス幹事

(二〇〇五年度卒業生)

組	1	2	3	4	5	6
男	田春 光介	吉村 侑太	佐藤諒太郎	金子慎太郎	福島 健太	芦野 博充
女	廣瀬 愛	長沼 未希	宮島佐都美	飯森 梨花	根本 実央	三枝真理奈

同窓会クラス幹事

(二〇〇六年度卒業生)

組	1	2	3	4	5	6
男	渡辺 卓雄	吉田 祐樹	工藤 裕貴	穴倉 賢司	大貫 輝	宇野 雅昭
女	沖田 愛美	堀越 恵	吉田富美子	山田 綾香	遠藤ゆり香	笈沼 久美



卒業生からの便り

心のぬくもり

11回生 竹内みどり

こんにちは。私は第11回卒業生です。もう卒業後30年も経ってしまいました(驚)。

我々が在籍していた頃の練馬高校はまだ私服時代で、自由な服装で通学していました。

周囲には大根畑などが広がり、マラソンで学校の外周を走るのにもあまり車に気を遣うなどということは無かったように思います。今はずいぶん変わりましたね。

当時私は卓球部に所属しておりました。あの頃は昼休みになると校舎を繋ぐ渡り廊下(今でもある?)に卓球台を出して練習をするのが日課でしたが、男子部より一台でも多く台を確保しようとして、授業が終わると渡り廊下までダッシュして台を奪取したものです。部長同士火花を散らした真剣バトルだったわ。懐かしいですね。でも本来仲の良い同期と年下の部員の間とは今でも連絡を取り合っている何回か会っています。今年の5月には卓球部顧問をして下さっていた英語科の神宮宮先生を囲んで当時の話に花が咲きました。それはまあ賑やかで、それぞれ年齢を重ねた容姿が昔の様に戻っていくのが見えるような不思議さと、心のぬくもりを感じました。みなさんも当時の友人と連絡を取り合って是非若返って下さい。今逢わなければいつ逢うのですか?今チャンスですよ。

卒業して気づいたこと

11回生 大庫(畔上)由紀子

四季折々の自然豊かな田柄の道を通った我が母校。卒業して30年が過ぎようとしています。

あの頃の生徒達は勉強だけにとられず、自分のやりたいことを各々のペースに任せて楽しむことが出来たように思います。私は生物部に所属し、裏庭に籠を仕掛けて雀を捕ったり、教材のために栽培している母を早々試食したり、研究の為のコミュニケーションと称し、放課後の部活を存分に楽しんでいました。もちろんちゃんとした自分の研究テーマもあり、夜遅くまでがんばってまとめ上げ、文化祭で発表したことも忘れられない思い出です。そんな私たちが温かく見守り、親身になって支えてくれ、しかも情熱的な先生が多かったというのに気付いたのは卒業後の事。自分が教える立場になり、当時の先生方の素晴らしさを改めて思います。

現在の勤務先小学校では、吹奏楽の指導に多忙な毎日。ふとした時に、子どもの笑顔と高校時代の友達顔が重なり、練馬を懐かしく思い出すことがあります。高校で習った事が直接社会に役立っているとは限りませんが、頑張っているものが今の私の大きな力になっていてと思います。

同窓会報で母校の様子や恩師、同窓生の方々の活躍を知るのとても楽しみです。今後も銀杏会のみならずの発展を祈っています。

練馬高校とテニス

11回生 首藤 紀夫

私が練馬高校に在学した昭和49年(51年)は、長嶋の現役引退、ロッキード事件、山口百恵などが話題になったそんな時代でした。いまから30年以上前のことです。

私にとつての練馬は、母校が田柄中学校だったもので、地元の高校という存在でとても親近感がありました。友達もたくさん入り、中に会長の伊藤君もいました。

サークルは硬式テニス同好会(翌年から部に昇格)に入りました。当時まだ珍しかった全天候型の新しいコートに目を引かれたことや、中学からの経験者が少ないところがいいと思っていたのが理由です。練習はランニングも筋トレもそれなりにありましたが先輩が少なかつたせいもありすぐにボールを打たせてもらえました。ところがラケットは木製で今よりずっと面が小さくなかなかスウィートスポットに当たりませんでした。それでも日々上達を目指し夢中になったかけがえのない時間がそこにありました。(壁打ちではよく下校の邪魔をしていました。ごめんなさい)。

その後テニスは10数年続け、たくさんの人達との出会いや思い出が財産として残りました。しばらく中断していましたが、お腹も氣になりはじめたので、そろそろ復帰のタイミングを伺う今日この頃です。

フォークソングがくれた物

12回生 高瀬 信夫

三十年前私が練馬高生だった頃は、ちょうどフォークソングブームの最後だった。

入学してすぐの事、多くの生徒がギターを弾ける事にショックを受けた私は、ただ劣等感からギターを練習した。そしていつの間にかフォークソング部に入門したがフォークの精神など考えた事も無かった。

そんな折、練馬制服化の問題が勃発した。多くの生徒達は自由な校風の象徴でもある私服の制度を失う事に不満を感じていたろうが、それを強く語ろうとはしなかった。当時生徒会会計の立場だった私は、生徒総会の壇上で他の仲間と決起を呼びかけ、制服化を食い止める事に成功した。

私はあの時、純粋に気持ちを表現できる術を手に入れた気がする。今にして思えば私があの時壇上で叫ぶ事が出来たのは、いつの間にか植え付けられたフォークの精神からだつたのだ。それは単に私がクラブにいたと言っただけでなく、我々の世代に流れている共通の精神性である気がする。

多くの方が私と同じようにこの時期に色々な物事に出会い、感じ、考える事でその後の人生に大きな変化をもたらすはずだ。

私は今、三児の父として子供達に何かを伝える事を考えた時、自分の心に素直に向き合って道を選ぶ術を伝えたいと思っている。情報が入り乱れ、真実が見えにくくなっている現在だからこそ、純粹な眼で物事を観る術を持つ、フォーク世代の私たちにはそれが容易く出来るはずだ。

From the Teachers

10年間に感謝

(平8〜平17 国語科)

柳川

暁

今年の三月まで十年の間お世話になり、ありがとうございます。在任中は途中からの時も含めてクラス担任を三回持たせていただいたことにも大変感謝しています。その間、教職員の方々の温かさに助けられ、また明るく接してくれる生徒たちに元気づけられました。職員室に来て用事が終わったら後に長々と雑談をしていく生徒たち。笑い声の聞こえる職員室。もともと長く練馬高校にいられたらと今も思っています。

現在私は満員の山手線に乗り、サラリーマンのような格好で都心の学校に通勤しています。「ひとつ駅を乗り越せば違った人生もあると思へり午前八時五十分」という授業でも紹介した短歌を時々思い出しながらも決まった駅で下車する毎日です。先日は卒業生から、満員電車での通学が大変だけど頑張っているというメールをもらいました。それぞれの道に進んだ卒業生からの便りはとてもうれしく懐かしくもあります。卒業生の皆さん同士は連絡を取り合っているのでしょうか。今は過去を振り返る余裕のない人も、母校への思いが年ごとに、あるいは突然わき上がってくるかもしれません。どうか三年間で築いた友情がいつまでも続きますように。そして同窓会の益々のご発展を切に願います。

教員劇があつた頃

(平5〜平13 社会科)

玉置

哲広

僕が練高にきた93年は、教員が10人以上入れ替わり細かい選択制という、わけのわからんシステムが導入されていた頃です。

まだある程度若かったので、文化実行委員会ではかなりイキがつてリキを入れ、オープニングセレモニーを始めたりました。荒木田先生と94年の文実委メンバーとは、色々苦楽を共にしましたね。99年にも大高先生と再びやりました。

文化祭といえば、日本史の松橋先生が93〜95年頃に、天才的な才能を発揮して脚本を書き下ろしていた教員劇が思い出に残ります。当時の教員のキャラを活かした絶妙のキャストイングで、毎回ドタバタ喜劇が作られました。よく出演していた先生と役どころを挙げれば当時の雰囲気などが思い出されるかもしれません。

松橋・中西・下田先生などはヤクザ役。その妻は根本先生。若いもん役には大内・抱山・阿部裕先生など。悪知恵が働きそうな主役級に阿部匡先生。原始の国から来たような野生児が小久保先生。福井・菅原・滝澤先生は女子高生などの娘役で決まりました。父母などのちよつとほけたオトナ役が達伊・内山・伊東・伊東克・片岡先生など、そしてナレーションはいつも砂谷先生でした。んで、私は？ だいたいマヌケな役でしたね。

お久しぶりです

(平9〜平17 音楽科)

新井

純子

皆様、お久しぶりです。私は、練馬高校に8年間勤務させていだいた後、昨年4月に晴海総合高校に異動いたしました。昨今、教員の異動要綱の改訂によって異動の年限が短くなり、現在では、原則として6年で強制異動ということになっています。この制度も一長一短だと思いますが、たとえば卒業して2〜3年たつて学校に遊びに行ってみると、担任団は誰も残っていないことになり、卒業生や同窓会にとっては、寂しいかぎりです。不都合も多いのではないのでしょうか。

それにしても、私にとつての練馬高校時代は、本当にいろいろなことがありました。音楽科としては、初代の片岡先生、二代目の斉藤先生のお二人が、合わせて34年間（！）築き上げられたものを引き継ぎ（私は三代目だったのですね）、特に吹奏楽部においては、多くのOB（最年長は私と同年代）の方々の助けを借りながら、その灯を絶やさないように、必死で過ごした8年間でした。今後もずっと見守っていききたいと思います。教師にとつて、多くの生徒たちとの出会いは宝物です。私が担任したみんな、どうしているかな、時々思います。どこかでまたお会いできればうれしいです。

練馬高校の思い出

(平4〜平13 養護)

福井

敬子

卒業生のみなさん！お元気ですか！ 今回の原稿を頼まれてから「練馬高校の思い出って何かしら」とずっと考えていました。楽しかった？ めちゃくちゃ忙しかった？ 毎日朝、保健室に来て「おはよう」と一息してから教室に行く生徒に一日が始まり、お昼休みから放課後まで、いつも誰かが保健室にいた事。カウンセリング室で、身体・病氣・勉強・進路・友達・恋愛にいたるまで、いろんな話をしていた事を懐かしく思い出しました。やっぱり人間関係の話が一番多かったですね。特に恋愛かしら。笑。そんな中で鮮明に心に残っている事があります。練馬高校を異動する時です。3月の終了式！最後の最後に、みんなから「手作りアルバム」のプレゼント。当時は、3年生の卒業式でした。アルバムを作る時間がほとんどない状況の中、先生達から卒業生にまで声を掛け、作ってくれた「手作りアルバム」を受け取った時の感動は忘れられません。「やられた！」って気持ちでした。今も私の大切な宝物です。振り返ると、私自身みんなに励まされエネルギーを貰いながら仕事していた事をしみじみ思い出しました。ありがとうございます。私は、また新しい学校に変わる時が近づいています。練馬が思い出になったように工業も思い出になっと思っています。

「今」この瞬間が思い出として刻まれていくんですね。卒業生のみなさん！自分の人生を楽しんで過ごして下さい。

練馬高校2006

総務部より

相変わらず夏はとても暑いですが、練高は静かでゆったりした空間を備えていて、落ち着いた学習環境を維持しているのが何よりです。生徒の気持ちのよい挨拶に迎えられます。今年3月をもって11名の方々が去って行かれ、入れ替わって10名の方々が来られました。都の異動基準により異動の回転が速くなり、教員も毎年3分の1近くが入れ替わる状態です。事務室も「経営企画室」と改組され、人員も削減されました。

カリキュラムに関しては、来年度から実施する東京都の「奉仕体験活動」の具体化を「教育課程検討委員会」を中心に思案中です。1学年の科目を必修とし、2学年以降の選択科目群の中から1つを選ぶ方式の、いわゆる進路別の4パック制（1理系コース、2文系コース、3芸術・家政コース、4就職・一般コース）の中にいかに位置づけるかです。

クラブ活動参加人数の割合は、57%です。野球、サッカー、バスケットの男子・女子、弓道は30人以上部員がいます。テニス、バドミントン、ダンス、軽音楽は20人台です。



陸上、女子バレー、卓球、吹奏楽、美術、イラストレーション、演劇は10人台です。全国高校野球の予選では、初戦が都立練馬工業高校とわざわざ八王子の上柚木球場で対戦し9対4で勝利し、第2戦は都立羽村高校と10対0の6回コールド勝ちでした。第3戦は都立府中西高校と対戦し惜しくも負けてしまいました。勝てばシード校の早稲田実業が相手です。

した。バスケット部は男子が4回戦まで勝ち進み、全国トップクラスの私立八王子高校に敗れ、女子もベスト8になれる試合でやはり全国トップクラスの私立明星学園高校に敗れました。相手は背丈・体格が高校離れしています。サッカー部は8月中旬に全国高校選手権大会予選があります。

1学期末の7月11日には映画鑑賞



会を練馬文化センターで実施しました。上映作品は小川洋子原作の「博士の愛した数式」でした。数学への興味を湧かせる作品で、寺尾聰、特に深津絵里が好演していました。7月13日には1年の地学動物園見学会を行いました。8月5日には本校屋上天文ドームで「天体観測会」が行われました。文化祭は、9月16、17日です。

会 計 報 告 書

2005年度への繰越金内訳(円)

巢鴨信用金庫	865,382
朝日信用金庫	68,741
郵便局	3,294,792
手持ち現金	81
合 計	4,228,996

2004年度決算報告

(円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
前年度繰越金	4,291,723	会報発行費用等	1,067,669
入 会 金	629,685	H P 維持費	24,473
寄付、名簿売上等	450,340	総 会 費 用	21,986
総 会 収 入	19,000	郵便手数料等	31,460
利 息	9	運 営 費	16,173
		次 年 度 繰 越	4,228,998
合 計	5,390,757	合 計	5,390,757

2005年度決算報告

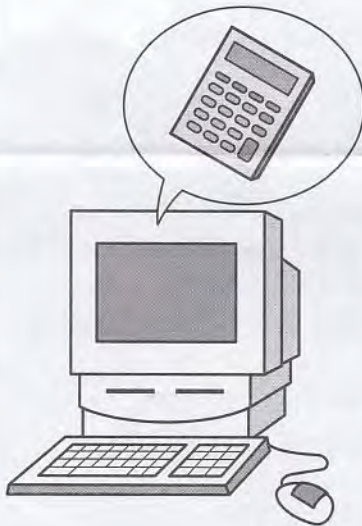
(円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
前年度繰越金	4,228,996	名簿発行代金	1,279,425
入 会 金	435,390	H P 維持費	10,000
寄付、名簿売上等	1,930		
総 会 収 入		次 年 度 繰 越	3,376,899
利 息	8		
合 計	4,666,324	合 計	4,666,324

2006年度予算書

(円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
前年度繰越金	4,666,324	H P 維持費	20,000
入 会 金	432,000	郵便手数料等	50,000
総 会 収 入	45,000	運 営 費	55,000
利 息	10	次 年 度 繰 越	5,018,334
合 計	5,143,334	合 計	5,143,334



78	77					76	75				74				73					72		71	70	69					67			卒
3	8	8	7	7	4	2	7	1	1	7	6	3	8	8	8	4	1	3	2	3	1	8	4	4	2	2	6	6	5	多美		
池上	矢野	細川	蒔田	新井	玉井	竹下	森川	森川	萩原	鍋木	清川	高橋	賢川	山本	藤城	鹿島	酒井	大竹	小平	三村	葉袋	滝口	近藤	小林	渋谷	高野	森下	姓				
稔	正弘	法啓	美子	俊樹	典悟	高志	恵透	康一	直美	祥子	雅男	和子	祐子	慶高	晴樹	勇造	和子	光太郎	美千子	美貴子	勝勝	嗣晴	礼二郎	昭夫	名							
																													旧姓			

寄付金御芳名

スミ

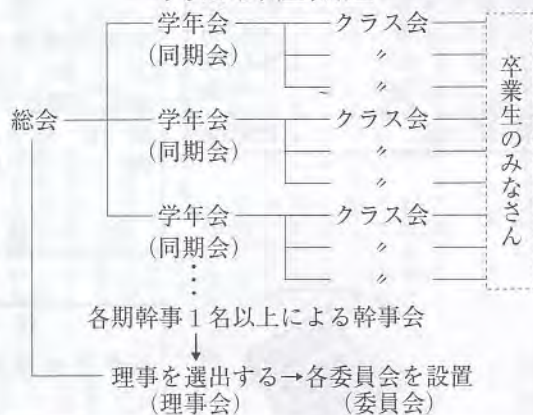
職員													04	03	01	97	93	89	88	87		85			84	83		79		78		卒	
													1	1	1	4	8	7	1	4	1	8	7	3	1	4	2	8	6	6	6	4	スミ
野口鉄郎	岩崎輝二	松原智子	渡辺義正	友山登紀子	石川文也	鈴木一正	小林汎	川端春生	石井忠利	高田俊治	浦野充夫	坂井哲夫	内藤滋	迫田海司郎	佐久間正子	小林由紀恵	山崎亜希子	高須健一	広部健司	岩田裕司	飯田彰夫	菅野玲子	平田千夏	広部正英	名取明美	都倉光子	篠田隆	安藤理子	高田幸男	外由美子	小野寺智子	高井美智明	姓 名
																	渡辺								小原							旧姓	

事務局より

- ①クラス会・同期会はどんどん自発的に開催してください。理事会ではクラス会・同期会の面倒までは見られません。
- ②クラス会・同期会のレポートをいただければ、会報にのせます。
- ③理事としてお手伝いしてくださる方、常時募集しています。ほんの少しの援助が大きな力になります。
- ④委員会
 - ◎総会委員会
 - ◎会報委員会
 - ◎組織委員会



同窓会組織図



事務局への連絡方法

新たに住所・連絡先が変更になりましたら、必ずご連絡ください。ただし、事務局（練馬高校内）には専従者がおりませんので、連絡はハガキまたは封書にてお願いします。電話での連絡はご遠慮ください。

連絡先：〒179-0074 練馬区春日町4-28-25 都立練馬高校同窓会事務局

名簿・総会・理事会への問い合わせ先

☆総会：総会委員	近藤邦夫	(Tel 0423-45-3022)
☆名簿：名簿委員	矢野正弘	〒179-0074 練馬区春日町5-7-9-2F (Eメール swallow@mtg.biglobe.ne.jp)
☆理事会への連絡先	三浦喜雄	〒272-0035 市川市新田3-27-15 (Tel 047-379-5412)
☆問い合わせ全般	伊藤久雄	〒179-0074 練馬区春日町4-36-1 (Eメール bigitoh1959@nifty.com)

[[[[[[[[[[お願い・お知らせ]]]]]]]]]

※同窓会が電話を使って卒業後の進路、勤務先、住所などを確認することはありません。

業者が同窓会の名をかたり、調査をすることがありますのでご注意ください。

※同窓会が特定の企業に会員情報を提供すること、まして会員を紹介することは一切ありません。ご注意ください。

※本会では、常に原稿をお待ちしております。高校時代の思い出、同期会報告、イベントなど、H.P. 上のアドレスへ E-Mailにてお送りください。郵便にて事務局まで送っていただいても、もちろん結構です。

10 回生 吉田 隆

名簿の管理と会報の発送を担当しています。練馬の卒業生は一期から今年までで約13000人弱います。ところがそのうちの約5000人の居所が転居等でわかっておらず会報が送れない状況です。主には古い卒業生なのですが、期によっては半分以上不明なところもあります。もし会報が届いていない方をご存知でしたらH.P.からでも住所登録ができます。どうか一人でも多くの卒業生に届けていきたいと思います。また会報が隔年になったため転居先への転送期限を過ぎてしまった場合も増えるかと思えます。移転の際は住所変更のご連絡をどうかよろしく願います。

11 回生 伊藤 久雄

7月の終わってから8月のはじめにかけて約一週間、練馬での恩師とともに北京・西安・上海を初めて旅しました。2日目に明の十三陵で転び、指を骨折するというハプニングがありました。が、楽しく快適に過ごすことができました。また色々考えさせられる旅でした。周知のように、現在、中国経済は順調に発展しており、街や人々の表情には活気と自信がみなぎっているように感じられました。みなさんは、高層ビルの数は上海のほうが東京よりも多く、北京市民の3人に2人が自家用車を所有していて、毎月一〇万台の車が売れていることをご存じでしたか？「百聞は一見にしかず」。自分の目と身体で感じる事の大切さを再認識させられました。

◎編集後記に寄せて◎
恩師と北京・西安・上海の旅